

## 平成24年度に建設工事で発生した事故事例（埋設物損傷事故）

### 事故概要：

カーブミラーを設置する際、ガイド孔を掘るため、油圧式打ち込み機にて掘削していたところ、函渠内照明の電線を切断させた。

### 事故原因：

- ・管理者への事前調査や試掘を行わなかった
- ・近傍に引込柱があったが埋設物の存在を想起できなかった

### 改善対策：

- ・事前調査や試掘の徹底
- ・施工範囲内に引込柱等がないか事前に確認する



分類：安全施設工、支柱打込

被害状況：函渠内照明3時間半断線

## 平成26年度に建設工事で発生した事故事例（地下埋設物損傷事故）

### 事故概要:

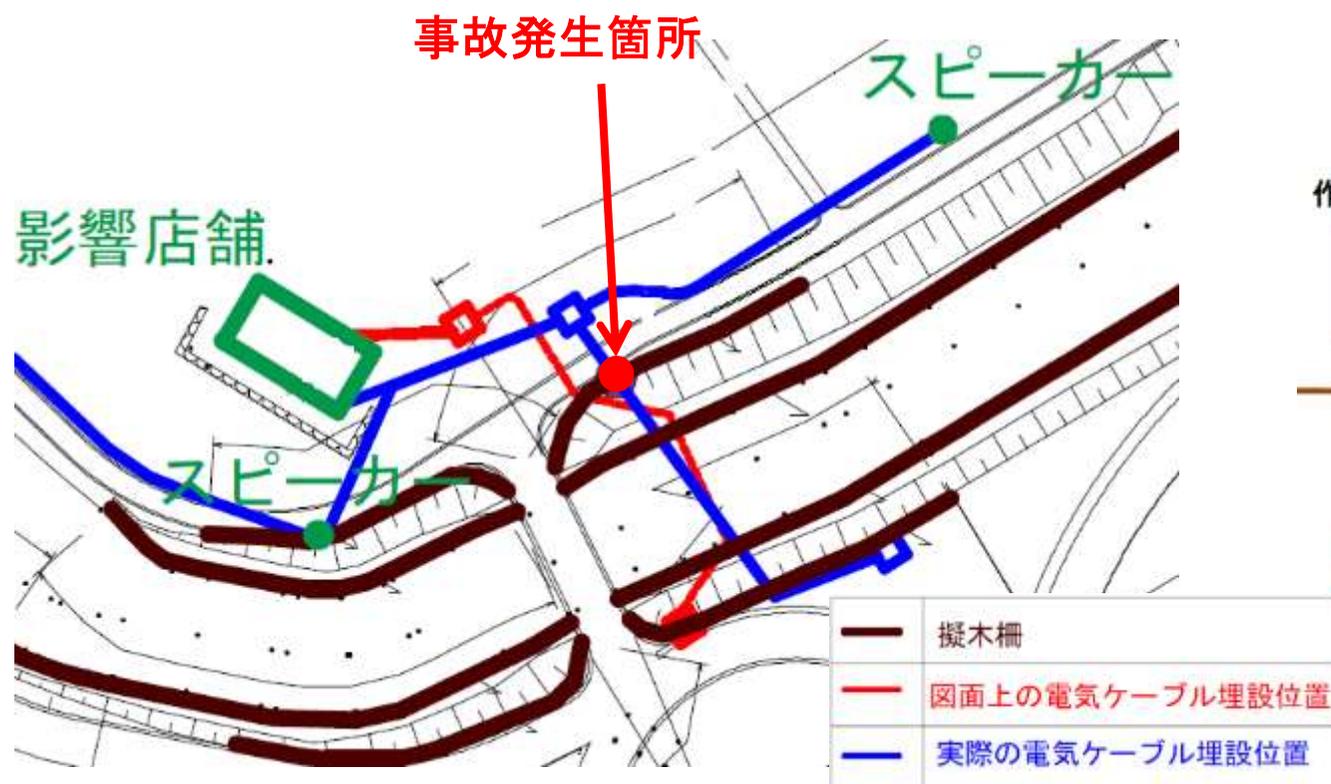
擬木柵の柱を打ち込み機にて打ち込んでいたところ、埋設されていた電気ケーブルに接触し一部破損させた。

### 事故原因:

・埋設物の存在を失念し、埋設物の正確な位置確認を怠った

### 改善対策:

・埋設物の位置確認の徹底



分類: 安全施設工、支柱打込

被害状況: 付近の店舗1棟とスピーカー4基を一時的に停電

## 令和元年度に建設工事で発生した事故事例（墜落・転落による事故）

### 【事故概要】

落石防護施設のアンカー工準備のため、擁壁上へ機材荷揚げ作業中、雪崩が発生しその際、擁壁上の作業員に雪玉が当たり、7.6m下の路面へ落下し負傷した。

### 【事故原因】

・雪崩の危険性があるにもかかわらず、異常時の避難方法を定めていなかったため、逃げ遅れ被災したものの。

### 【改善対策】

・雪崩発生時の雪崩のルートを検討し、避難路を設置し、作業員に周知する。  
・専属の斜面監視員を配置し、常に斜面状況を監視する。  
・斜面上方からの落下物に対するリスクアセスメントを項目追加しKY活動を行う。



【分類】安全施設工、支柱打込み

【被害状況】下肢脛骨骨幹部骨折、腓骨骨幹部骨折他(全治3か月)

# 令和3年度に建設工事で発生した事故事例（交通事故）

## 【事故概要】

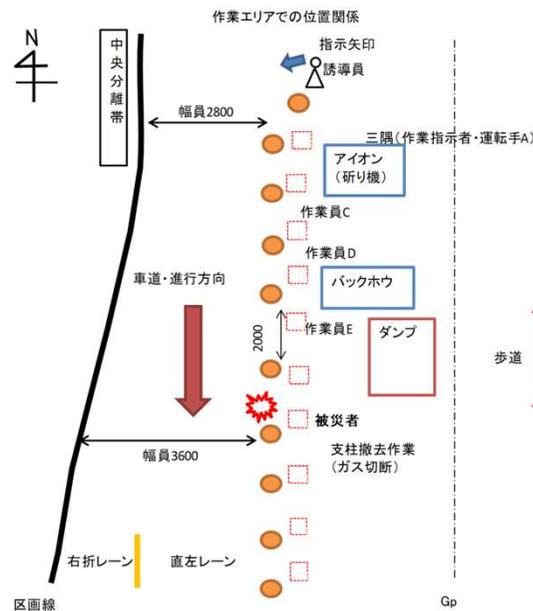
交通規制を行いながら道路工事を施工していた現場において、ガードパイプ支柱切断作業を行っていた作業員の脚が、カラーコーンによる規制エリア外に出ていたため、通行車両と接触し負傷した。

## 【事故原因】

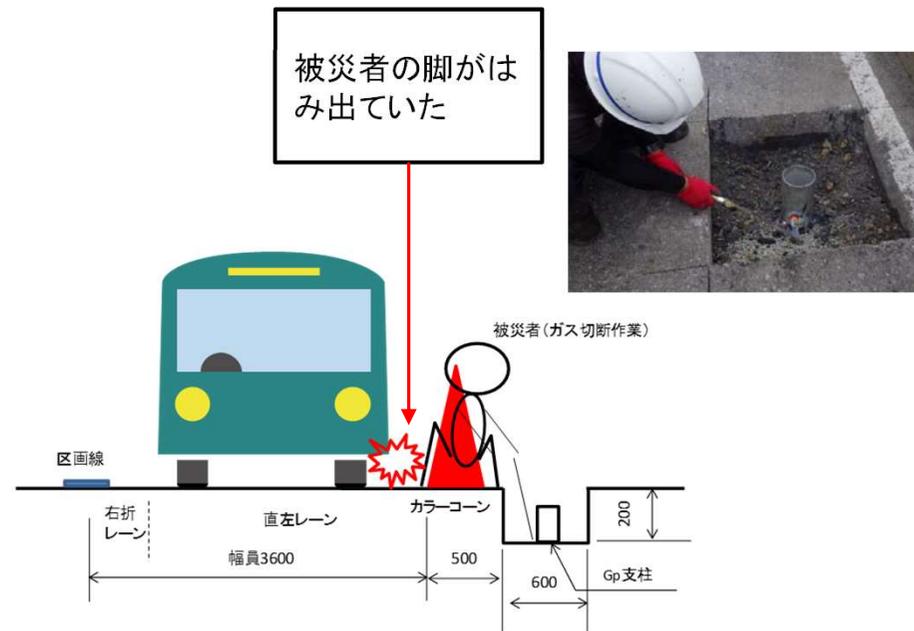
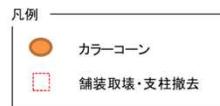
- ・カラーコーンによる規制を行っていたが、カラーコーン間は遮るもの、明示するものがなく、被災者は規制エリアから逸脱していることに気付かなかった。
- ・被災者は、繰返し作業により通行車両と近接した作業であるという意識、注意力が低下していた。

## 【改善対策】

- ・カラーコーンを連結バーで繋ぎ、さらに垂れ幕をつけることで、規制エリアを視覚的、物理的に明示し、作業員に対し逸脱抑止を図るとともに、通行車両に対する注意喚起を強化する。
- ・再度安全教育を行い、通行車両との接触事故防止の意識向上、規制エリア外への逸脱禁止を徹底させる。



事故現場状況図



【分類】安全施設工、支柱地込

業者人身 男1人 大腿打撲・下腿打撲挫傷（10日間の加療）